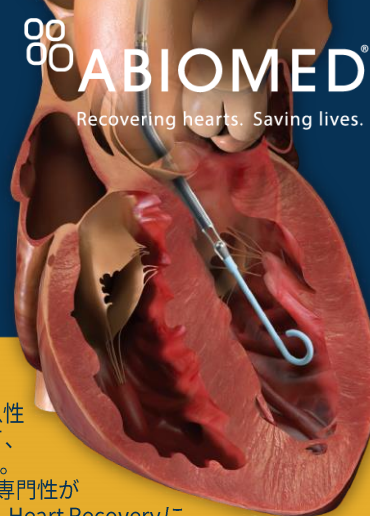


Interventional Heart Failure Therapy Case Club



Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impellaは、心源性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に3,000例を超える国内症例経験が蓄積されています。Impellaは救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します¹²。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療とImpellaをはじめとした最新デバイスを組み合わせるInterventional Heart Failure (IHF) Therapyは患者の予後改善とQOL向上に必要な不可欠となると考えられます。Impellaを含むIHF Therapyの達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャーインターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません^{3,4}。本ウェビナー(定期開催予定)では、各専門領域のエキスパートをお迎えしてIHF Therapyの実践例をディスカッションすることで、Heart Recoveryに取り組まれている医療従事者の皆様にとってよりよいIHF Therapy提供の一助になればと考えております。

1. Sobajima, Kinugawa, European Heart Journal- Case Reports, 2020. doi.org/10.1093/ehjcr/ytas418
2. Iida, Artif Organs, 2019 Aug;43(8):806-807. doi: 10.1111/aor.13434.
3. Panhwar, J Am Coll Cardiol, 2020 Jun 16;75(23):2984-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.010.
4. Kapur, J Am Coll Cardiol, 2020 Jun 16;75(23):2987-2988. doi: 10.1016/j.jacc.2020.05.011.

Case Presenter

福嶋 五月 先生

国立循環器病研究センター病院 心臓外科



IHF THERAPY^x

MI に対する Primary PCI 後の
低左心機能・カテコラミン依存の
僧帽弁閉鎖不全症例

日時

2021 年 9 月 8 日 (水)
18:30 - 19:45

会場

Zoom ウェビナー
(事前登録制)



※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです。上記の二次元バーコードから事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにてご連絡いたします

Guest Commentator



戸田 宏一 先生
大阪大学 心臓血管外科



絹川 弘一郎 先生
富山大学



上妻 謙 先生
帝京大学



佐藤 直樹 先生
かわぐち心臓呼吸器病院



朔 啓太 先生
国立循環器病研究センター研究所



中田 淳 先生
日本医科大学

Director

Moderator

本ウェビナーに関するお問い合わせ

日本アビオメッド株式会社 マーケティング japan_marketing@abiomed.com

販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル
承認番号: Z2800BZ100032000

販売名: IMPELLA 制御装置
承認番号: Z2800BZ100031000

製造販売業者: 日本アビオメッド株式会社
外国特許承認取得者: ABIOMED, Inc.

一般の名称: 循環補助用心内留置型ポンプカテーテル
医療機器クラス分類: IV 高度管理医療機器
特定保険医療材料機能区分: 193 補助循環用ポンプカテーテル

一般の名称: 循環補助用心内留置型ポンプカテーテル用制御装置
医療機器クラス分類: III 高度管理医療機器/特定保守管理医療機器

ABIOMEDロゴ、ABIOMED、Impella 2.5、Impella CP、Impella CP SmartAssist、Impella 5.0はABIOMED, Inc.の登録商標です